

つらつら椿外苑 2023年～24年期開花記録Ⅱ

マザーファーム(つらつら椿苑)の部

予告編

昨年整備を始めた、つらつら椿外苑の椿は、今季53品種が開花してシーズン終えました。一方、移植椿のマザーファーム(つらつら椿苑)では87品種の椿が咲きました。椿の蜜を啄むメジロ3態と苑外植栽の椿4種に加えて今季咲かなかった残念な椿の中から6種を交え、計100種の椿をご紹介します。(順不同)

注1.写真には、品種名・来歴等・撮影日を付記しています。(朝日二丁目HPでご確認下さい)
注2.マザーファームつらつら椿苑は、非公開・非公表です。

特別付録Ⅰ メジロと椿



メジロといろり火



メジロと叡山無動寺



メジロと加茂本阿弥

特別付録Ⅱ 苑外の椿



まんだら乙女(仮称)

まんだら山外周の散策コース
緑町のまんだら公園の植栽椿
2本植えられています



まんだら山外周の
散策コース



南蛮紅

同緑町個人宅で譲り受けた
挿し木予定の大輪の椿
代表的な肥後椿



←
別称: 絞乙女(しぼりおとめ)
藻汐(もしお)の枝変わり親



播磨邸の沖の浪

→
スーパーフレスコに通じる
遊歩道の植栽です
さくらと一緒に満開



朝日1遊歩道の明石瀉



万代(ばんだい)

雄しべは退化して葯が黒変し、変形することが多い キキョウ～平開咲き



明石潟(あかしがた)

日本種のうちで最も大きいものの一つ 2021年W16.0cm
2009年 京都 高木氏譲受挿し木



有楽(うらく)

江戸中期から知られた古典ツバキ わずかに結実する
別名: 侘助 太郎冠者(たろうかじゃ)

特別付録Ⅲ 今季咲かなかった椿たち(一部)

・マザーファーム(つらつら椿苑)



ピンクダリア

サルウィンツバキの実生から生まれた品種2019年舞鶴自然文化園ツバキ祭で購入



一楽(いちらく)

ユキツバキとヤブツバキの自然交雑種
ユキバタツバキの一品種



プリンセス雅子(まさこ)

イカリ絞の枝変わりから生まれた品種

・つらつら椿外苑植樹椿



久留米乙女(くるめおとめ)

咲きはじめは花心に宝珠状の玉を抱く、清楚な大輪花・久留米椿



貴婦人(きふじん)

中部月見車の自然実生
1981年見事な盆栽仕立てでツバキ展にデビュー



西王母(せいおうぼ)

江戸末期頃から金沢に伝わる茶席の名花
・中ふくらみの筒咲き